



**JCL BANK LEAGUE 2021 Round1 大分ステージJCL
JCLプロロードレースツアー第5戦コーユレンティア
オートポリスロードレース**

バンクリーグ：2021年 8月6日(金) 開催地：別府競輪場
出走チーム：6チーム トーナメント戦

ロードレース：2021年 8月8日(日) 開催地：オートポリス
出走チーム：9チーム
出走人数：52人 (第5戦)
距離：116.85km



Team UKYO SAGAMIHARA として初参戦となるJCLバンクリーグは別府競輪場で開催されました。またJCL第5戦の会場となった大分オートポリスはスーパーGT等モータースポーツで有名ですが、自転車でも全日本選手権を開催したこともあるコースとなっています。台風が発生しており、不安定な天候の中2つのレースは開催されました。小石祐馬、吉岡直哉、石原悠希、横塚浩平、小山智也、宇賀隆貴の6名での出走です。



Team UKYO SAGAMIHARA ならびにこのレポートに関するお問い合わせは：

KATAYAMA PLANNING 株式会社 桑原忠彦 大西恵太

TEL：03-6407-9963 FAX：03-6407-9964 Mail：kuwabara@k-planning.co.jp onishi@k-planning.co.jp



バンクリーグでは2つのリーグ戦を行い勝ち進んだチーム同士で決勝戦を行います。ルールは2チームから4名ずつ出走し1周回ローリングした後にスタート、3周回完了時5周回完了時7周回完了時と2周回ごとにポイントを獲得できます。3ポイントを先取したチームが勝ちとなります。ただし選手1人が獲得できるポイントは合計2ポイントまでとなります。Team UKYO SAGAMIHARA の初戦は広島チームとの対戦です。スプリント系の選手が少ない中で勝負するには力ではなく駆け引きが必要です。普段からバンクを走っていないこともあり、落車のリスクも避けるため横塚選手が先行で仕掛ける作戦でスタートして行きました。ローリングスタート直後から横塚選手が先行しますが、相手チームの選手が1名追いついてきます。普段の勝手と違うレースの為脚質では有利に思いましたが、3周回目と5周回目のポイントを手先に選手されてしまいます。相手選手はこれ以上先行を続けてもポイントを取ることが出来ないため踏むのを止めグループに吸収されます。石原選手がカウンターアタックを仕掛け、相手チームの選手が着いてくるも9周回目11周回目のポイントを連続で取得します。石原選手はこれ以上ポイントが取得出来ないためグループに戻ります。通常このタイミングで相手選手に先行されると13周回目のポイントを取られ3ポイント先取されるリスクがありましたが横塚選手の懸命な追い上げで1つのグループにまとまり、13周回目のポイントをどちらが取るかで決着が決まります。大外から捲る形で小山選手がスプリントを開始し、ゴールライン上では写真判定に時間がかかるほど僅差でポイントを獲得。予選1勝となりました。



予選2戦目はレース開催地地元の大分のチームとの対戦です、バンクの競技経験者が多い今大会の優勝候補チームです。予選1戦目で消耗した横塚選手を宇賀選手と交代して出走します。予選1戦目からわずか20分足らずでの再出走となるため疲労が溜まった状態です。大分のチームは最初の予選出走となるため脚がフレッシュな状態ですが、参加するチーム全てがイコールコンディションとなっています。バンク協議経験者が多い相手チームはバンクのカントを上手に使い攻撃を仕掛けてきます。宇賀選手と相手チームの1名は並走してお見合い状態となり、実質3対3で前半の攻防が進みます。競輪に代表されるバンクの競技は接触が多いコンタクトスポーツとなるため、落車しない程度に身体を当ててきたりとスキルを巧みに使用され3ポイントを手先に相手チームに先取されてしまいました。決勝に残れるかはリーグ内他チームの取得ポイント数によって決まります。結果として得失点差で2位となりますが予選敗退となりました。

ZENRIN
YOKOHAMA
GOOD SMILE COMPANY
MJS
AEONBIKE
SHIMANO
FACTOR
bryton
KYB
いっもNAVI
SUBARU
OIG
KAIOH

第5戦は台風の影響で悪天候が予想された中でのスタートとなりました。スタートした時点では雨が降っていなかったもののスタート直後から雨が降り始め、大粒の雨が路面を完全ウェットにします。

今回のチームオーダーは前回までと違い自ら積極的にレースを組み立てず、むしろ他チームの攻撃を積極的に潰すことでレースのペースを高く保ちつつライバルを消耗させる作戦でした。結果として自ら仕掛けるより体力を温存して仕事をしつつ終盤まで多く枚数を残すことで終盤の作戦の幅を増やすことが目標です。平坦基調と言われていたオートポリスのサーキットですが上り区間はさすがに踏まないといけな勾配で25周回となると獲得標高も多くなってきます。

宇賀選手が2位につけているU23ランキングと途中設けられている周回賞はチーム的には考えず、とにかくレース終盤まで省エネとレースのペースを早く保ちライバルの脚を削って行きます。終盤に差し掛かるに当たって小石選手本人のコンディションからアシストに徹する事として集団の中で活発に動き回ります。その動きも合わせて小石選手自身も集団から落ちていくものの終盤では13名しか残らないというサバイバルな展開となります。チームメイトの献身的なアシストのおかげで体力を温存できた石原選手へ勝負を託しました。宇賀選手も自身の体力と相談しながら石原選手を守りながら終盤へ進んでいきます。



残り3周目に人数を残していたライバルチームの攻撃が始まり宇賀選手が脱落。残る石原選手も単騎ではこの攻撃をまともに対応すると別のチームの攻撃に対応できなくなる可能性が高く、先行した選手をこの場は見送ります。他チームとの駆け引きもありお見合い状態になる為ペースを高く保てず先行する選手とのタイム差が開き続けます。数的にも先行しているKINANの選手が多く集団内にいるため、石原選手が積極的に動く相手の思う壺になります。集団から脱落していた宇賀選手は、完走するとU23ランキング的に首位を奪還できる状態なので最後まで諦めず5分のタイムオーバーとの戦いです。石原選手はラスト周回で他2名と追走を開始し、その追走集団でのゴールスプリントを制し2位でのフィニッシュとなりました。



Team UKYO SAGAMIHARA ならびにこのレポートに関するお問い合わせは：

KATAYAMA PLANNING 株式会社 桑原忠彦 大西恵太

TEL：03-6407-9963 FAX：03-6407-9964 Mail：kuwabara@k-planning.co.jp onishi@k-planning.co.jp





大西SDのコメント

今回は5レース目となるJCLのレースですが今までは積極的に仕掛ける方針で走っていましたが今回は成績で魅せようと方針を少し変えた作戦としました。過去4戦で成績を出している選手は頭を使って脚を使わないようにレースを進め、ここぞという時に勝負をするというレース運びをしているので年間を通して同じチームで走るJCLの成績の出し方になると思います。

終わってみれば2位で表彰台に登ることが出来ましたがもっと自身を温存して他チームの選手を“使う”が徹底できていればと思うシチュエーションがまだまだ見受けられ、1人でも多く中盤と後半に残ればと言うのが正直なところです。

ただそれぞれが自分の出来る仕事をしっかりと獲得した2位ですので、次戦以降も今回の反省を活かしながら優勝を目指したいと思います。結果として獲得することのできたホワイトジャージも接戦ですので、シーズン後半ではこちらを意識して行きたいです。

外国人選手の招聘もしばらく難航しそうなので、引き続き日本人選手のみでのレース参戦となりますが、感染症対策を徹底して遠征を続けますので変わらぬ応援をどうぞよろしくお願いいたします。



ZENRIN
YOKOHAMA
GOOD SMILE COMPANY
MJS
AEONBIKE
SHIMANO
FACTOR
bryton
KYB
いっもNAVI
SUBARU
KAIOH

Results コーユーレンタアオートポリスロードレース

Avg Speed of Winner : 40.71km/h

Rank	No.	License ID	Rider	Team	Time	Behind	JCL	U23
1	82	10004656990	畑中 勇介/ 八ツカ 功次	キナンサイクリングチーム	2:52'13"	0"	260	
2	57	10021228533	石原 悠希/ イハラ 悠希	チーム右京 相模原	2:53'48"	+1'35"	140	
3	85	10011024739	山本 大喜/ ヤマモト マサキ	キナンサイクリングチーム	2:53'49"	+1'36"	80	
4	2	10062886191	谷 順成/ タニ ジュンセイ	那須 プラセゼン	2:53'50"	+1'37"	50	
5	83	10007274576	山本 元喜/ ヤマモト ゲンキ	キナンサイクリングチーム	2:53'53"	+1'40"	40	
6	21	10004556960	増田 成幸/ マサダ ナリキ	宇都宮ブリッツェン	2:53'54"	+1'41"	30	
7	90	10005595264	Lebas Thomas/ トマス	キナンサイクリングチーム	2:53'54"	+1'41"	28	
8	133	10009531040	孫崎大樹/ マツザキ タツキ	スパークル大分レーシングチーム	2:54'02"	+1'49"	26	
9	102	23ME0801739	阿曾圭佑/ アソ ケイスケ	ヴィクトワール広島	2:54'03"	+1'50"	24	
10	84	10009799004	新城 雄大/ ニジキ ユウダイ	キナンサイクリングチーム	2:54'20"	+2'07"	22	
11	55	10020873471	宇賀 隆貴/ ウガ リュウキ	チーム右京 相模原	2:55'10"	+2'57"	20	30
12	26	10009798903	小野寺 玲/ オノデラ レイ	宇都宮ブリッツェン	2:57'20"	+5'07"	18	
13	27	10021229240	中村 魁斗/ ナカムラ ケイト	宇都宮ブリッツェン	2:57'20"	+5'07"	16	
14	22	10006143013	阿部 嵩之/ アベ タカユキ	宇都宮ブリッツェン	2:58'50"	+6'37"	14	
51	10008856383	小石 祐馬/ コイシ ユウマ	チーム右京 相模原	DNF				
136	44MU1801266	宮崎泰史/ ミヤザキ タシロ	スパークル大分レーシングチーム	DNF				
24	10008003490	堀 孝明/ ホリ タカユキ	宇都宮ブリッツェン	DNF				
43	10021229139	阿部 航大/ アベ ナガユキ	さいたまディレーブ	DNF				
81	10004556455	中島 康晴/ ナカジマ ヤスル	キナンサイクリングチーム	DNF				
41	10010987959	高木 三千成/ タカキ ミチナリ	さいたまディレーブ	DNF				
4	10007747755	西尾 勇人/ ニシオ ヒロト	那須 プラセゼン	DNF				
74	21ME1900482	西村基/ ニシムラ モト	レバンテフジ静岡	DNF				
6	10009087365	渡邊 翔太郎/ ワタナベ ショウタロウ	那須 プラセゼン	DNF				
121	27ME9701956	向川尚樹/ ムカガウ ナガキ	VC福岡	DNF				
108	27MU1500013	内田宇海/ ウチダ ユカイ	ヴィクトワール広島	DNF				
54	10063223873	横塚 浩平/ ヨコヅカ ヒロヘ	チーム右京 相模原	DNF				
123	40ME1700662	檜室建斗/ ヒノムロ タケト	VC福岡	DNF				
126	28MU1800342	本多晴飛/ ホンダ ハルヒ	VC福岡	DNF				
127	27MU1701988	東優仁/ アズマ ユキ	VC福岡	DNF				
135	14MU1401372	小野寛斗/ コノ ヒロト	スパークル大分レーシングチーム	DNF				
46	10021238132	半田 子竜/ ハンダ シユウ	さいたまディレーブ	DNF				
105	34MU1700828	渡邊諒馬/ ワタナベ リョウマ	ヴィクトワール広島	DNF				
45	10082672373	藤田 涼平/ フジタ リョウヘイ	さいたまディレーブ	DNF				



Team UKYO SAGAMIHARA ならびにこのレポートに関するお問い合わせは：
 KATAYAMA PLANNING 株式会社 桑原忠彦 大西恵太
 TEL : 03-6407-9963 FAX : 03-6407-9964 Mail : kuwabara@k-planning.co.jp onishi@k-planning.co.jp